



## News

# 1

## 「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」を公表 (一財)日本建築防災協会が策定

(一財)日本建築防災協会は、平成29年5月16日に「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」を公表した。

平成28年4月に発生した熊本地震では、新耐震基準の木造住宅のうち、接合部等の規定が明確化された平成12年以前に建築された建物で倒壊等の被害が見られた。これを受けて国土交通省では、リフォームなどの機会をとらえて、平成12年以前に建築されたものを中心に接合部等の状況を確認することを推奨する方針を決定。そのために、(一財)日本建築防災協会において、新耐震基準に適合している在来軸組構法の木造住宅について、接合部等を確認することで効率的に耐震性を検証する方法を検討。その結果を「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」としてまとめた。

今回公表された検証法は、「所有者等による検証」と「専門家による効率的な検証」の2つで構成されている。このうち「所有者等による検証」は、耐震診断の専門家ではない建物所有者やリフォーム業者などが、適用範囲を確認した上で、平面及び立面の形状、接合部金物の仕様、壁の配置バランス及び建物の劣化状況などの建物検査を行い、それらの結果に基づいて、スクリーニング的な耐震性能を検証する方法となっている。「木造住宅の耐震性能チェック」というリーフレットも用意しており、これを使うことで検証できる。

「所有者等による検証」により専門家による検証が必要と判断された場合、「専門家による効率的な検証」を行うことになる。

## News

# 2

## バリエーション広がる断熱玄関ドア 性能のさらなる向上、デザインバリエーションの拡充など

住宅の省エネ化を図るうえで見逃せない断熱玄関ドアについて、様々なバリエーションの商品の発売が相次いでいる。

YKK AP(株)では、平成28年7月から断熱スライディングドア「NEW コンコード」を発売した。スライディングドアは、開きスペースが不要といった理由から、都市部の狭小地で採用されることが多いが、他の種類の玄関ドアと比較すると断熱化が遅れていた。そこで、同社ではスライディングドアの断熱化を図り、鋼製引戸では業界初となる断熱性能(U値:2.31W/(m<sup>2</sup>・K))を実現した。また、平成28年4月から高断熱玄関ドア「InnoBest(イノベスト) D70」、「InnoBest(イノベスト) D50」の2シリーズも発売した。このうち「InnoBest D70」シリーズは、

金属製ドアでは業界初となる断熱性能(U値:0.93W/(m<sup>2</sup>・K))を備えている。

一方、(株)LIXILでは、平成29年4月から主力の断熱玄関ドア「ジエスタ」を一新、業界最多となる全85デザイン・29カラーという豊富なラインナップを取り揃えた「ジエスタ2」を発売した。豊富なデザインをプラスすることで、断熱性能の向上を図りながら、意匠性の向上にも寄与する。

断熱玄関ドアのバリエーションが拡充されるなかで、断熱改修の提案メニューとしての訴求力も高まりそうだ。



優れた断熱性能を備えたYKK AP(株)の「InnoBest D70」シリーズ

### 注目のニュース

(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

第34回住まいのリフォームコンクール(H29年度) 6月15日 募集締切

(一財)建築環境・省エネルギー機構

Q & Aで読み解く「建築物省エネ法」説明会を6月19日、東京で追加開催

(一社)住宅リフォーム推進協議会

「建築再生展2017」に出展しセミナーを開催 5月31日～6月2日

アキレス(株) 手すりなどに貼ることで付着したウイルスの活動を抑制するフィルムを発売 再剥離も可能

(株)ニチベイ 遮蔽性と省エネ性を高めたよこ型ブラインドを発売 冷暖房使用時の電気代を年間30.9%削減

### リフォーム評価ナビ からのお知らせ

登録事業者様に営業活動のコツを伺う『教えて、あなたのコツ』。5月22日にサンキホーム(株)様(神奈川県藤沢市)の記事を事業者管理サイト内に公開しました。得意工事の豊富な経験と蓄積データにより、確かな技術力を築いています。ぜひご一読ください。

【お詫びと訂正】リフォーム評価ナビNews vol.180(2017年5月15日配信)で掲載した注目のニュースのうち、「国土交通省 平成28年度の新設住宅着工戸数を公表」のリンク先が切れていました。正しいリンク先はこちらです。訂正しお詫び申し上げます。